



遺族・仲間達が、現場に立ち
真相究明を始める。

運送会社や警察が説明する事故原因に疑問を抱き、遺族とクラスメート、仲間たちが現場に立ち真相究明を始めました。



遺族・仲間達が、現場に立ち
真相究明を始める。

現場に何十回も足を運びました。



現場検証の報告会を開き、
交通事故問題を皆で考える。

現場検証報告会の様子

そして、現場検証で判ってきた内容をまとめ、報告会を開き、交通事故問題をみんなで考えるようになりました。



公開の法廷での真相追究の権利を求め、署名を通し日本の交通事故処理の甘さ・不公平性の問題を社会に呼びかける。



街頭署名活動の様子

公開の法廷での真相追究の権利を求め、署名を通し日本の交通事故処理の甘さ・不公平性の問題を社会に呼びかける。

公開の法廷での真相追求の権利を求め、署名を通し、日本の交通事故処理の甘さ、不公平性の問題を社会に呼びかけ始めました。日本の年間交通事故件数約 100 万件のうち、刑事裁判が開かれるのはわずか約 1 %です。ほとんどが闇に、今日現在も葬られています。死人に口無し、その現状を町の人々に話しました。



「生命の尊さ・重さ」を社会に向け、
自分達で発信する。

命の貴さ、重さを遺族たちで全国の人たちに伝えていきます。交通事故被害者の遺族となり、警察や企業、社会がどれだけ人間の命を軽く見なしているか、嫌というほど思い知らされました。検察庁や裁判所は、被害者の命を、権利を、もっとしっかり扱って欲しいです。